

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	認知症の軽い人と重い人の間には、職員とのコミュニケーション能力にかなりの開きがあるので、双方に不満と苛立ちが生じている。職員は個人の意向を尊重した外出計画やリハビリ計画を立てた積りでいても、ついつい集団ケアに陥っている。情緒不安定な方が2名いて、狭い空間で人間関係がギクシャクするので、この2人を優先してしまう。	個人の希望を最優先にした外出計画やリハビリ計画を立てる。狭い空間から解放つべく、外に出掛けるのも、人間関係の円満に繋がるので、頻繁なドライブを行いたい。又、居室内で職員との時間を共有して、心の内をお聞きする等を試みたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブに出掛ける際は、大勢で出掛けることを止めて、1人か2人のドライブを短時間で、頻回に行う。ストレスを溜めた利用者同志を引き離すことで、ストレス緩和も図りたい。</li> <li>・職員は大勢の利用者を相手にする時、レベルの低い人に視線を合わせて話しをするが、ドライブ中は、個人のレベルに応じた個別の会話を行いたい。</li> <li>・9人が同じリハビリ作業をすることはないが、1人1人の希望を踏まえて、より一層濃やかなリハビリを行いたい。</li> <li>・お茶を持って利用者の居室を訪ねて、四方山話からスタートしたい。</li> </ul>	3ヶ月
2	22	この3年間、コロナ禍の為に、隣近所との立ち話しも遠慮したり、町会行事も開催されず、参加も出来なかった。図書館等や買い物にも出掛けられなかった。	コロナ禍が落ち着いて来たので、普段通りの暮らしを取り戻す為にも、積極的な外出に努め、ご近所や地域との関係を、より良いものにした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望も踏まえ、週1回は買い物に出掛ける。食材を買いに出掛ける職員に同伴して、グループホームの食材を買ったり、本人の欲しい整美用品等も購入したい。</li> <li>・市立図書館に出掛けたり、町会行事に参加したい。</li> <li>・コロナ禍で、美容師をグループホームに招き、集団散髪を行っていたが、家族の協力を得て、本人の馴染みの美容室に出掛けたり、職員が連れて行ったりしたい。</li> <li>・8番ラーメンや、うどん/ そば屋や、ファミリーレストランにも出掛けたい。</li> </ul>	3ヶ月
3					ヶ月